



学校だより



(担当)
教頭

<学校教育目標>

かしく やさしく たくましく

2026年2月4日(水) No.7

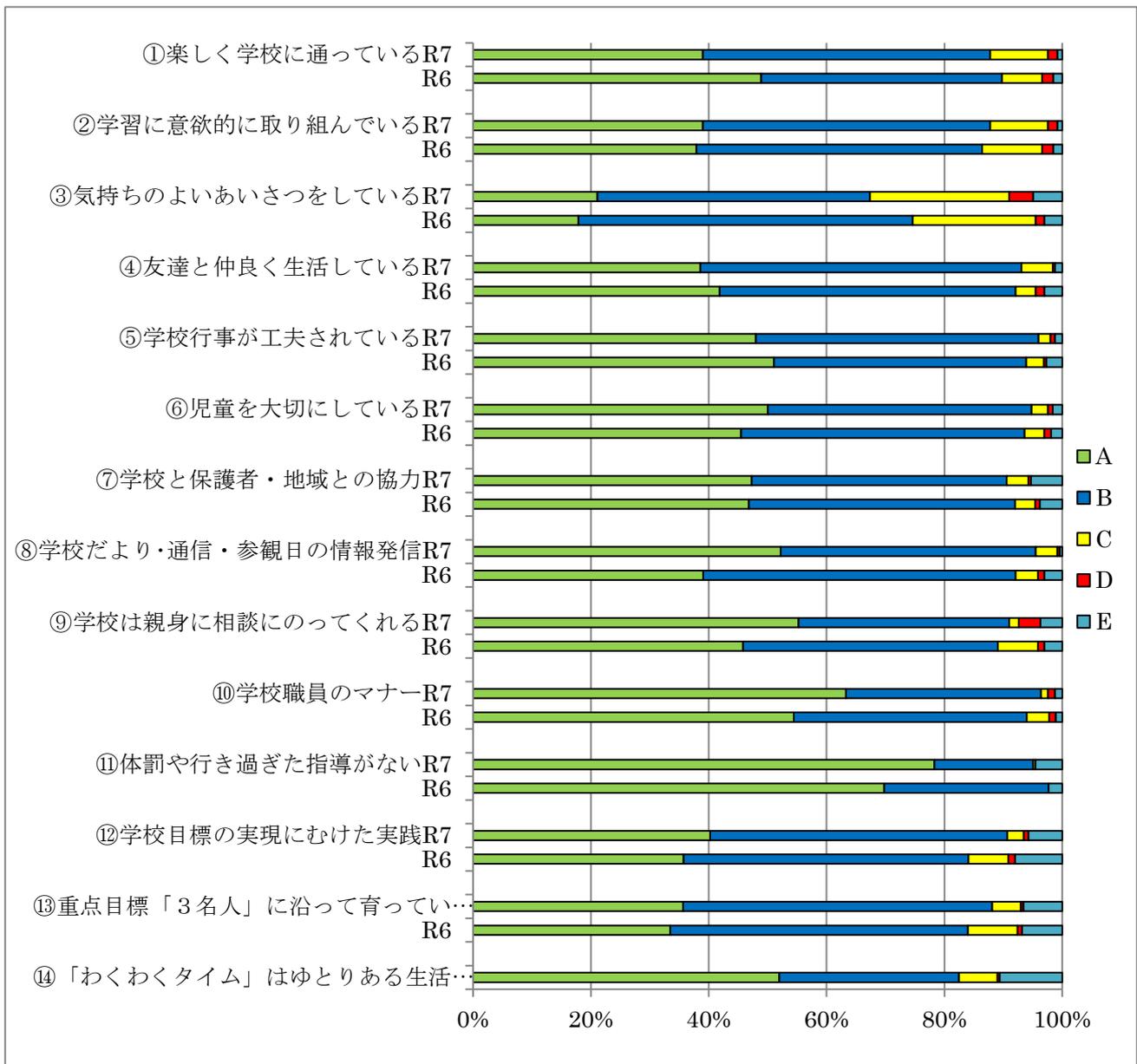


保護者アンケート集計結果

保護者の皆様には、2学期に実施した学校評価アンケートへのご協力をいただきありがとうございます。結果のご報告いたします。この結果をもとに、今年度のこれまでの取り組みをふり返し、今後の学校運営の改善に努めてまいります。

A : そう思う B : だいたいそう思う C : あまり思わない D : 思わない E : 不明・無回答

【上段令和7年度 下段令和6年度】



1 今年度の成果と課題

- 「あいさつ」以外の項目で A・B の評価が80% を超えています。特に「友達と仲良く生活」、「児童を大切に」の項目で評価が高いことから、本校の子どもたち同士や教職員との関係がお互いを尊重したものであると捉えられていることがうかがえます。学校教育目標である「かしこく・やさしく・たくましく」を受けた今年度の重点は「めざせ3名人 聴き合い名人、なかよし名人、がんばり名人」です。子どもたちも日々「なかよし名人」をめざして生活している姿を支えていきたいと考えます。
- 「学校行事の工夫」「体罰・行き過ぎた指導がない」の項目についても評価が高く、教科学習以外の生活や指導も評価していただいています。しかし、コメントをいただいた中には、行事の内容についてのご意見や教職員の児童に対する接し方に対するご意見がありました。ご意見については全職員で共有し、今後も丁寧な対応、丁寧な連絡の改善につなげていきます。また、行事については、各行事での児童の多忙感の解消や保護者の負担を減らすことも考えていきます。
- 「気持ちのよいあいさつ」の評価が下がっています。地域の方々には、登校中のあいさつや学校に見えたもちっこ応援団の方々に対して子どもたちは気持ちの良い挨拶ができると評価していただいています。学校職員が校内で地域の方に会っても挨拶がないとご指摘をいただきました。ボランティアで活動してくださることに職員も子どもたちも感謝の気持ちを挨拶等で伝えられるようにしていきたいと思えます。
- 「わくわくタイムはゆとりある生活…」の結果から子どもたちのゆとりにつながっていると一定数の評価をいただきました。今年度、日課を変更し、8:30から1時間目を始めています。バスの時刻までまとまった時間(45分間)がとれるので、この時間を「全校での活動」と「わくわくタイム」とし、自由遊びの時間(休み時間としては+40分)としたり、以前は授業時間に食い込んでいた行事の準備や係・委員会準備の時間としたりしました。また、日が短くなる秋以降は冬日課として、5時間授業を多くして明るいうちに家に帰れるよう授業時数を管理してきました。

2 自由記述欄のご意見について

学校に対する感謝の言葉をたくさんいただき、ありがとうございました。また、学校の取り組みに対する保護者の負担の大きさ、職員の対応、ゆとりある生活のために学習時間は足りているのかと言う不安、見直す取り組みに対する有用感など様々のご意見をお寄せいただきました。ありがとうございました。いただいたご意見に対しては、全職員で共有し、もちっこ応援団推進委員会(学校評議員会)においても報告し、ご意見をいただきました。今後もお気づきの点がありましたら、随時学校までご連絡くださいますようお願いいたします。

3 来年度の取り組み

今年度は日課を工夫し、わくわくタイムの時間を創設したり、冬期の5時間授業を増やしたりしました。中学校とも密接に関係するバスの運行を妨げず、1年間に必要な授業時数や行事の時間を確保しながら、時間割を作ってきましたが、放課後に先生が児童と向き合う時間、学校・学級運営の準備の時間確保にもつながりました。20年前に比べ授業時間は10%以上増加したと言われています。過密にならない時間割、年間計画の工夫を続けて研究していきます。

- (1) 本校では、勝ち負けや他人の評価ではなく、「自分自身がどうなりたいのか」を大切にしたいと考えています。自身の学びを振り返り、意欲や自信をもって学びに向かうことを願い、少子化に伴う学校規模縮小を見越して、活動や行事のあり方を考えていきます。
- (2) 保護者の学校活動に対する負担の軽減をPTAに提案し、PTAとともに方法を考えていきます。
- (3) 文部科学省の定める授業時数を確保しつつ、5時間授業を増やすことで、児童、職員とも心身にゆとりをもって生活したり、授業準備や身届けをして児童の前に立ったりできるようにしていきたい。